



めざせ！！南十字星

★夢と勇気と元気をもって★ 2020・2・3

学校だより

2月号

ヨハネスブルグ日本人学校

実り多かった2泊3日の野外活動！！ ドラケンスバーグ少年合唱団と交流する

1月いっとき、2月にげつき、3月サラサラという言葉がありますが、早2月になってしまいました。この2月もあっという間に過ぎてしまう感覚になることでしょう。そのためにも、1日1日を大事に過ごしたいものです。



さて、3学期の大きな行事「ドラケンスバーグ野外活動」が先日（1月22日～24日）行われました。

これは、日本でいう集団宿泊学習と修学旅行を兼ねたもので、小学校5年生から中学2年生と一緒に世界遺産であるドラケンスバーグに2泊3日で行き、ドラケンスバーグの大自然を体験する行事です。今年は自然体験に加えて、初の試みで世界的にも有名なドラケンスバーグ少年合唱団との交流を行いました。どんな交流になるか心配でしたが、大歓迎を受け合唱団の首席指揮者から直接、発声練習を受け、その後、定期公演が行われるメインステージで合唱団100名の中に入り、南アの名曲「ショショローザ」を歌う体験をしました。子供たちにとって、いつまでも記憶に残る思い出になったことでしょう。

また、大自然を味わうトレッキングでは児童生徒12名全員が往復4時間かけて、マッシュルームロックという山を踏破しました。宿泊施設のロッジでは、夕食や昼食を自分たちの手で用意するなど、ヨハネスではできない貴重な体験をしました。



一方、小学4年生以下の子供たちは、「ふれあい活動」で学校外に行き、ベリー狩りやアイススケートを行い、3日目は学校でブライを楽しみました。こちらでも普段体験できない活動を通して、思い出に残る時間を過ごしました。

<校長室からひとこと>

～卒業生(現京大4年生)からのエール～

夏の暑さも峠を越え、朝夕は過ごしやすくなってきた。今は、学校も企業も2月22日のソフトボール大会に向け、練習に余念がない。願わくば、ケガをせずに当日を迎えたいものだ。

さて、始業式の翌日1月7日にJ S Jの卒業生で現在京都大学4年生の彦坂祐輔さんという方がアフリカ旅行の途中にJ S Jを訪問してくれた。急な訪問で中学生のみとの交流になったが、当時の学校の様子や本人の勉強や遊びに関する話をしてくれた。その中で、J S J在籍の3年間(中1～中3)を今振り返ったとき、J S Jで学んだ事が自分の基礎となり、今の自分を作っていると中学生に語りかけていた。特に、英語力が格段に身についたのは言うまでもないが、それ以上に、少人数で学んだ日本語を通じた各教科の学びが大きかった。と述べられていた。最後にJ S Jで学ぶ機会を得た皆さんは、帰国しても誇りと自信を持って、何事にも挑戦する人間になってほしいと述べられた。

帰国後、彦坂さんにはJ S Jに向けて、自分の思いをまとめた寄稿文を寄せて頂いた。近々、ホームページにもアップする予定なので是非読んで頂きたい。

このように、J S Jの卒業生が母校に立ち寄るとともに、寄稿文を通して本校で過ごした時間が自分の将来に大きな影響を与えた事を綴って頂いたことに感謝申し上げたい。

現在在籍の子供達が混沌とするこれからの世の中でしっかりと生きていくための礎をこのJ S Jで築いてくれることを切に願いたい。と同時にそれに応えられるJ S Jであるように切磋琢磨していきたい。

